

# 第56回 全道ろうあ者夏季体育大会 in 千歳 参加案内書

～ 千歳から翔びたち栄光の未来をつかみとれ ～



日時：2024年6月28日(金)～30日(日)

会場：千歳市スポーツセンター・武道館 他

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：千歳聴力障害者協会

## 第56回全道ろうあ者夏季体育大会開催要綱(案)

1. 目的 全道のろうあ者がスポーツを通じて心身を鍛え、積極的な社会参加を推進し、その福祉の向上に寄与することを目的とする。
2. 名称 第56回全道ろうあ者夏季体育大会
  - (1)「第49回ボウリング競技」
  - (2)「第34回バドミントン競技」
  - (3)「第22回パークゴルフ競技」
  - (4)「第21回ソフトバレーボール競技」
  - (5)「第9回フロアカーリング競技」
3. 主催 公益社団法人 北海道ろうあ連盟
4. 主管 千歳聴力障害者協会
5. 開催日 2024年6月28日(金)～30日(日)
6. 競技主管 北海道ソフトバレーボール連盟  
千歳バドミントン協会  
千歳ボウリング協会  
千歳パークゴルフ協会  
北海道ろう者フロアカーリング委員会
7. 後援 (予定) 北海道・北海道議会・(社福)北海道社会福祉協議会・(社福)北海道共同募金会・(一社)北海道身体障害者福祉協会・(公財)北海道スポーツ協会・(公財)北海道障がい者スポーツ協会・北海道豊学校長会・北海道豊学校 PTA 連合会・手話を広める北海道議会議員連盟・北海道手話サークル連絡協議会・北海道手話通訳問題研究会・北海道手話通訳士会・千歳市・千歳市議会・千歳市教育委員会・(公財)千歳市体育協会・(社福)千歳市社会福祉協議会・千歳身体障害者福祉協会・千歳商工会議所・(一社)千歳青年会議所・千歳ライオンズクラブ・千歳中央ライオンズクラブ・千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ・(一社)千歳観光連盟・千歳要約筆記の会「やませみ」・要約筆記サークル With・毎日新聞社北海道支社・読売新聞北海道支社・朝日新聞北海道支社・朝日新聞社千歳支局・北海道新聞社千歳支局
8. 協力 千歳手話の会・恵庭手話の会・北海道手話通訳問題研究会道央支部千歳恵庭班・手話サークル「しらかば」・手話サークル「木曜の会」

## 9. 日程及び会場(予定)

月 日	時 間	競技種目及び内容	会 場
6/28 (金)	19:00～21:00	合同会議	千歳市社会福祉協議会
6/29 (土)	10:00～10:45	主将会議(ボウリング)	千歳市総合福祉センター
		〃 (バドミントン)	
		〃 (フロアカーリング)	
	11:00～11:45	総合開会式	千歳市総合福祉センター
	13:00～13:30	各競技開会式	各競技会場
	13:30～17:00	ボウリング競技(団体戦)	千歳フジボウル
		バドミントン競技(第1日目)	武道館
		フロアカーリング競技	千歳市スポーツセンター
17:30～18:00	主将会議(ソフトバレーボール)	千歳市総合福祉センター	
	〃 (パークゴルフ)		
6/30 (日)	9:00～17:00	ボウリング競技(個人戦)	千歳フジボウル
		バドミントン競技(第2日目)	武道館
		パークゴルフ競技開会式・競技 (団体戦・個人戦)	つばさ公園パークゴルフ場
		ソフトバレーボール開会式・競技	千歳市スポーツセンター
		終了後表彰式	各競技場

【会場所在地】

千歳市内市外局番 (0123)

区 分	会 場 名	住 所	T E L
合同会議	千歳市社会福祉協議会	千歳市東雲町1丁目11番地	27-2525
主将会議 総合開会式	千歳市総合福祉センター	千歳市東雲町2丁目34番地	24-3131
バドミントン競技	武道館	千歳市あずさ1丁目3番1号	22-2100
ソフトバレー ボール競技	千歳市スポーツセンター	千歳市真地176番地-2	22-1111
ボウリング競技	千歳フジボウル	千歳市北斗4丁目1-26	23-4542
パークゴルフ競技	つばさ公園パークゴルフ場	千歳市泉沢1007番地-127	24-1366
フロアカーリング競技	千歳市スポーツセンター	千歳市真地176番地-2	22-1111

10. 参加資格

- ・北海道ろうあ連盟の正会員であること。
- ・身体障害者（聴覚障害）手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・聞こえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

11. 競技実施要項

競技実施要項は別に定める「第56回全道ろうあ者夏季体育大会競技実施要項」の通りとする。

12. 競技種目 競技種目は下記の通りとする。

競 技 種 目	日 程	種 目		備 考
		男 子	女 子	
バドミントン	6 / 29 (土)	シングルス戦	シングルス戦	参加制限なし
	6 / 30 (日)	ミックス戦		
		ダブルス戦	ダブルス戦	
フロアカーリング	6 / 29 (土)	ダブルス戦		
ボウリング	6 / 29 (土)	団 体 戦		
	6 / 30 (日)	個 人 戦	個 人 戦	A・Bクラス
ソフトバレー ボール	6 / 30 (日)	団 体 戦		参加制限なし
パークゴルフ	6 / 30 (日)	個 人 戦	個 人 戦	

13. 大会参加料 参加料は次の通りとする。

区 分	参 加 料
選手参加料	3,000円 但し、ボウリング競技については Aクラス 6,000円 Bクラス 5,000円
団体参加料	1チームにつき 2,000円 但し、ボウリング競技については、8,000円とする。 バドミントン競技の男女ダブルス・混合ダブルスは1チームにつき 2,000円 フロアカーリング競技は除く。
応援参加料	原則無料とする。 但し、大会資料を希望する場合は、1,000円

【パークゴルフ競技の場合】

区 分	参 加 料
選手参加料	3,000円 プレー代(入場料 600円)は個人戦、団体戦とも参加者各自が負担する。
団体参加料	1チームにつき、2,000円

【バドミントン競技の場合】

	参加種目	参加料 (必須)	各男女ダブルス (1組2,000円)	混合ダブルス (1組2,000円)	合計参加料
A	全種目参加	3,000円	1,000円	1,000円	5,000円
B	シングルスのみ	3,000円	—	—	3,000円
C	ダブルスのみ	3,000円	1,000円	—	4,000円
D	混合ダブルス のみ	3,000円	—	1,000円	4,000円
E	ダブルスと 混合ダブルス	3,000円	1,000円	1,000円	5,000円

\*各男女ダブルス・混合ダブルスは、1組2,000円ですが、1人の参加料は1,000円となります。

\*各男女ダブルス・混合ダブルスを申し込んだ場合は、パートナーと必ず確認をして下さい。  
また、参加申込書の他にペア申込書を一緒に申し込んで下さい。(ペア申込書がない限り、参加を認めないこともありますのでご注意下さい。)

\*聞こえる人の場合は、C・D・Eの参加に限ります。

※大会参加料は、3,000円の中から200円をろうスポーツの発展のため、「北海道ろうあ連盟文化スポーツ基金」に使わせていただくことをご了承下さい。

#### 14. 弁当の申込み

別に定める参加申込用紙に必要事項を記入の上、期限までに申し込むこととする。

弁当(昼食・お茶)1人1食 **1,000円**

実行委員会にお申込みいただいた弁当・お飲み物のゴミは回収する。

#### 15. 申込方法

(1) 個人参加申込書に記入し費用全額を添えて所属する協会に申込書を提出すること。

(2) 協会責任者は別添の総括申込書に個々の申込者分を集計し、費用全額を添えて

**5月2日(木)**までに下記の実行委員会へ申し込むこと。

※申込書は必ず郵送し、参加料は銀行振込とする。

##### 【申込書郵送先】

〒066-0042 千歳市東雲町1丁目11番地 千歳市社会福祉協議会内  
第56回全道ろうあ者夏季体育大会実行委員会  
TEL 080-9615-6149  
FAX 050-3094-8847  
Eメール: chitose.deaf@gmail.com

##### 【参加料振込先】

銀行名	北洋銀行 千歳中央支店
口座番号	(普) 7215670
名義	第56回全道ろうあ者夏季体育大会 実行委員長 佐藤義典

#### 16. 途中解約または参加申込み締切り以降の出場選手変更について

(1) 大会参加料は、申込み締切り以降の場合は、理由の如何にかかわらず返金しない。

※取り返し返金の場合は、大会期間中に所属協会責任者に直接返金する。

責任者は印鑑持参すること。

- (2) 事故などによる選手等の変更は2024年6月29日(土)の主将会議までに「登録選手変更届書」に参加料を添えて実行委員会に提出すること。  
FAXなどによる登録選手変更届や期日を過ぎた提出は認めない。

#### 17. 全国ろうあ者体育大会への参加資格

- (1) ブロック予選のある競技については、優勝又は準優勝のチーム又は個人が参加できる。但し、該当者がいない場合は協議の上、他の参加を認める。  
(2) ブロック予選のない競技については、全日本ろうあ連盟スポーツ委員会の規則に照らしてチーム又は個人の参加を認める。

#### 18. その他

- (1) 選手はスポーツ傷害保険又はこれに準ずる保険に加入しておくこと。  
(2) 大会期間中の負傷・病気について応急処置は行うが、費用は個人負担とする。必ず健康保険証を持参すること。  
(3) 保育における事故等について実行委員会では責任を負いかねる。親の監督下のもと必ず国内旅行傷害保険等に加入しておくこと。  
(4) 宿泊ホテル・交通等旅行に関する申込みについては、各自で手配すること。  
(5) その他、必要な事項はその都度北海道ろうあ連盟と実行委員会が協議により定める。  
(6) 武道館及び千歳市スポーツセンターには、必ず上靴を持参して下さい。

## 第56回全道ろうあ者夏季体育大会競技実施要項

### 1. 目 的

この要項は、全道ろうあ者夏季体育大会の運営を円滑に実施することを目的に定める。

### 2. 競 技 運 営

- (1) 荒天時における実施判断については、主催者側と競技主管が協議の上、決定する。
- (2) 競技進行中に起きた競技者の行為、又は順位の設定に関し、異議のある場合は競技者又は代理人が文書又は口頭で審判長に申し出ることができる。
- (3) 各競技規則で服装について定めてある場合は、その服装で競技すること。

### 3. 主 将 会 議

各競技の主将会議を次の通り開催する。

尚、出席できるのは出場する競技ごとに1チーム2名以内とする。

- (1) 6月29日(土)10時00分～10時45分(千歳市総合福祉センター402号室)

バドミントン競技、ボウリング競技、フロアカーリング競技

- (2) 6月29日(土)17時30分～18時00分(千歳市総合福祉センター402号室)

ソフトバレーボール競技、パークゴルフ競技

- (3) 主将会議に欠席するチームは、必ず大会前日までに大会実行委員会あて連絡すること。

### 4. ゼ ッ ケ ン

- (1) 競技に出場する選手は、必ずゼッケンを付けなければならない。但し、パークゴルフ競技の選手は目印にリボンを左肩に付ける。
- (2) ゼッケンの付け方は、各競技規則に定める通りとする。但し、申込み後のゼッケン番号又は背番号の変更は認めない。
- (3) バドミントン、ボウリング競技に出場する者のゼッケンは、各競技規則に定める規格のものを参加者において準備するものとする。

### 5. 表 彰

- (1) 各競技の1位から3位までの入賞者にメダルを授与する。
- (2) 団体戦の優勝チーム・2位・3位のチームにはメダルを授与する。
- (3) 団体戦の賞状については「各競技規則」に準ずるものとする。

### 6. 記 録 発 表

競技記録は、実行委員会本部より発表する。

### 7. 競 技 規 則

各競技の競技規則は、別紙の「各競技規則」のとおりとする。



# 《ソフトバレーボール競技》

## 1. 競技種目

団体戦(男女混合)

## 2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・聞こえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

## 3. チーム編成

1チームの競技者は男女で計4名編成し、男子2名以下及び聞こえる人は2名以下とする。(男女は問わない。)  
但し、補欠を含めて7名まで登録することができる。

## 4. 競技方法

(1)参加チームによって、予選リーグ・決勝はトーナメント戦とする。但し、参加チームが少ない場合は予選・決勝共リーグ戦とする。

- ① 予選リーグ戦は、参加チームを各ブロック(1ブロック3チーム)に振り分けて行う。
- ② 決勝トーナメント戦は、予選リーグ1・2位チームにより行う。
- ③ 予選リーグ戦3位以下のチームは各ブロック3位以下のチーム同士によってトーナメント戦を行う。(表彰はなし)

(2)コートはバドミントンコートを使用する。

(3)ネットはソフトバレーボール用ネットを使用する。尚、ネットの高さは2メートルとする。

(4)ボールは公式試合球を使用する。

(5)競技は3セットマッチで行い、2セット先取したチームの勝ちとする。1セット15点先取で行い、

1つのセットは最小限2点差をつけて先に15点を取ったチームが勝ちチームになる。尚、同点になった場合、2点リードに達するまで試合は続行される。但し、17点で試合は打ち切れ、17点先取したチームが1点差でも勝ちチームとする。

(6)各チームはセット毎に2回のタイムアウトを取ることができる。1回のタイムアウトの時間は30秒以内とする。

(7)サーブ権を得たチームは直ちに時計の針と同じ方向に移動する。

(8)次の行為は反則とする。

(イ)オーバーネット・ネットから手が出てOK。但しネットから手が出てボールに触れてはいけない。

(ロ)タッチネット・いかなる場合でもインプレー中、直接ネットに触れてはいけない。

(ハ)ドリブル・2回以上ボールに触れてはいけない。第一球目は一連の動作であればドリブルはない。

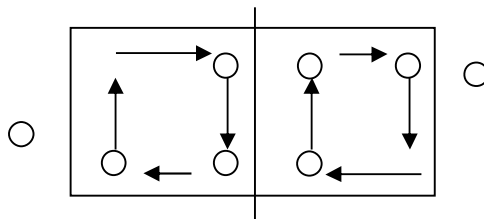
(ニ)ホールディング・ボールを踏んだり、明らかに停止させてプレーしてはいけない。

(ホ)フットフォルト・サーブは打つ瞬間にエンドラインに触れてはいけない。

## (9)ローテーションの位置

右図のように一つずつ移動する。

サーバーの位置ローテーションで移動し、  
右後衛に来た人がサーブを行う。



## 5. ゼッケン及びキャプテンマーク

選手はゼッケン並びにキャプテンマークをつけること。

## 6. 組み合わせ

参加申し込み締め切り後、実行委員会において、審判長立会いの上、代理抽選により決定する。

## 7. 表彰

決勝トーナメント終了後、閉会式にて行う。

## 8. 競技規則

公益財団法人日本バレーボール協会制定「ソフトバレーボール競技規則」に準ずる。

# 《ボウリング競技》

## 1. 競技種目

- (1) 団体戦…男女混合団体
- (2) Aクラス…年齢制限なし 予選4G+決勝2G(男女別・全国大会出場権を付加)
- (3) Bクラス…年齢制限なし 予選4G(男女別)

## 2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・聞こえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。

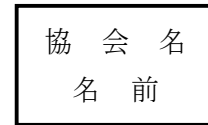
## 3. チーム構成

- (1) 団体戦は1チーム男子2名、女子1名の構成とする。但し構成できない事由があるときは変則的に男子1名+女子2名と言う構成も認める。(3人チームとする)
- (2) チーム構成できない協会は、他の地域協会との構成ができる。
- (3) 聞こえる人は、1チーム2名まで参加できる。

## 4. 競技方法

- (1) 個人戦はアメリカン方式とする。(一対のレーンで1フレーム毎に交互に投球する。)   
また、個人戦の予選4ゲームは予選から1レーンごとにレーン移動を行う。   
Aクラス…6ゲームのトータル(予選4ゲーム+決勝2ゲーム)   
※決勝2ゲームもレーン移動をする。(男女別)   
Bクラス…予選4ゲームを行い、各ゲームのハンディ込トータルピンにより男女毎に順位を決定する。
- (2) Bクラスは年齢によりハンディをつける。(P⇒ピン)(G⇒ゲーム)   
50歳以上…5P(5P×4G=20P)   
60歳以上…10P(10P×4G=40P)   
65歳以上…15P(15P×4G=60P)   
70歳以上…20P(20P×4G=80P)
- (3) 団体戦はアメリカン方式で男女混合4名4Gとし、そのトータルピンにより順位を決定する。
- (4) 団体戦におけるハンディについて   
男子60歳以上1ゲームにつき…10P   
女子49歳以下1ゲームにつき…10P   
女子50歳以上1ゲームにつき…15P   
女子60歳以上1ゲームにつき…20P
- (5) 競技中は次の行為を認めない。   
イ) スロープレー   
ロ) 競技中の喫煙   
ハ) ボックス内での飲食(ガムなども禁止)   
ホ) 競技中、遅延行為、又は迷惑行為   
※飲み物などはカウンターで飲み、ボックス内に持ち込まない。

二)ゼッケンは次の通りとする。



縦18cm

※ゼッケンの文字はローマ字でも可とする。

横25cm

(6)全国ろうあ者体育大会の団体戦について

全国ろうあ者体育大会の団体戦に出場する条件は、全道ろうあ者夏季体育大会の男子Aクラス上位4名、女子Aクラス上位3名とする。

但し、上位の方で出場できない場合、繰り下げ順とする。また、補欠メンバーもそれぞれ1名とする。

5. 組み合わせ

参加申込締切り後、実行委員会において審判団立会いの上、代理抽選により決定する。

6. 表 彰

(1)個人戦は各クラス毎1位～3位までメダルを授与する。

(2)団体戦は1位～3位までメダル及び賞状を授与する。

(3)ハイゲーム賞は個人戦の競技で最高点を出した選手に贈り、各クラス別毎に授与する。但し、Bクラスについてはハンディ得点を除いた最高点とする。

7. 競 技 規 則

公益財団法人全日本ボウリング協会の競技規則に準ずる。

# 《バドミントン競技》

## 1. 競技種目

男子シングルス、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス

## 2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は保護者の同意条件で参加を認める。
- ・聞こえる人は、北海道手話サークル連絡協議会、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。但し、シングルスに参加することはできない。また、各男女ダブルス、混合ダブルスのペアについては、健聴者同士のペアは認めない。(ろう者と聞こえる人のペアを認める。)

シングルス	各男女ダブルス	混合ダブルス
×	○	○

## 3. 競技方法

各種目ともリーグ方式で行なう。但し、参加者が多数の場合はトーナメント方式で行なうことがある。競技方法の決定は、競技主管で行なう。

## 4. 競技服装

- (1)選手は着衣の背部にゼッケンをつけるものとする。
- (2)ゼッケンは下記の通りとする。

名 前	たて 18cm
協会名	よこ 25cm ※白地に黒字

## 5. 使用シャトル

(公益財団法人)日本バドミントン協会検定合格品とする。

## 6. 組み合わせ

各種目とも参加申し込み締め切り後、実行委員会において審判長立会いの上、代理抽選により決定する。

## 7. 競技規則

大会開催年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則並びに本大会運営規定による。

## 8. 表 彰

各種目とも、競技終了後閉会式において行なう。

## 9. 注意事項

- (1)各種目とも21点3ゲームマッチのラリーポイント制とし、20点オールになった場合は2点差がつくか、最大30点までの延長戦とする。
- (2)すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、2分を超えないインターバルを認める。  
第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に2分を超えないインターバルを認める。
- (3)プレーヤーは次の行為をしてはならない。
  - ①プレーを故意に遅らせたり、または中断すること。
  - ②シャトルのスピードや飛び方を変えるために故意にシャトルに手を加えたり破損したりすること。
  - ③見苦しい服装でプレーをしたり、審判員や観客に対して横柄な振る舞いをしたりするような下品で無礼な態度・言動

# 《パークゴルフ競技》

## 1. 競技種目

個人戦(一般 男・女 シニア 男・女) 団体戦

## 2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟会員であること。
- ・非会員であっても学校長・障害者団体長の推薦ある者、及び手話サークル会員の参加も認める。  
個人戦のみ聴覚障害者とする。
- ・聞こえる人は18歳以上で、北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれかであること。  
但し、聞こえる人は団体戦のみの参加とし、個人戦の参加は認めない。

## 3. チームの編成

- (1) 団体戦のチーム編成は次の通りとする。  
年齢を問わず、4名で編成し、聞こえる人は2名以下とする。  
但し、女子4名で編成したチームには10打のハンデを与える。
- (2) 団体戦のチームは協会又はブロック内の選手をもって編成する。

## 4. 競技方法

- (1) 競技は36ホールストロークプレーとする。  
団体戦、及び個人戦ともに競技は36ホールストロークプレーとし、団体戦は1チーム4名の合計スコアで順位を決定する。
- (2) この大会は各ホール7打打ち止めとする。
- (3) 年齢によりクラス分けを行う。(満年齢)  
(ア)一般 男子70歳未満 女子65歳未満  
(イ)シニア 男子70歳以上 女子65歳以上
- (4) 1位から3位までに同順位が生じた場合は、短距離、直線コースにおいて1ホール1打によるカップからの距離によって(ニアピン)順位を決定する。
- (5) 4ヶ所同時スタート(A-1・B-1・C-1・D-1)
- (6) 競技者はアドレス前に、1打毎に打数の自己申告(手話)を行う。
- (7) OB並びにペナルティは2打罰を付加する。  
(スコア記入はホールアウトしてから、1ホール毎に全員で確認する。)

## 5. 用具

国際パークゴルフ協会公認用具を使用する。(くまげらマーク)

## 6. マナー

- (1) 喫煙場所はスタート地点のみとし、コース内は禁煙。
- (2) アドレス時、同伴者は邪魔にならない位置で静かに見学し、競技者は進行を遅らせてはならない。
- (3) バンカーを使用した場合は、バンカーならしを忘れず行うこと。

## 7. 表彰

- (1) 全競技終了後、閉会式にて行う。
- (2) 個人戦はクラス毎に1位から3位までメダルを授与する。
- (3) 団体戦は1位に持ち回り優勝杯を授与、又1位から3位までにメダルを授与する。

## 8. 競技規則

最新の国際パークゴルフ協会ルールに準ずる。

# 《フロアカーリング競技》

## 1. 競技種目

ダブルス戦(1チーム2名(登録は補欠を含めて3名まで可)男女、年齢関係なし)

## 2. 出場資格

- ・北海道ろうあ連盟正会員であること。
- ・身体障害者(聴覚障害)手帳を有する中学生・高校生は、保護者の同意条件で参加を認める。
- ・聞こえる人は、18歳以上で北海道手話サークル連絡協議会員、北海道手話通訳問題研究会員、日本手話通訳士協会北海道支部員、加盟団体賛助会員のいずれであること。  
但し、聞こえる人同士のダブルスは認めない。

## 3. 競技方法

- (1) 予選はリーグ戦・決勝はトーナメント戦とする、但し、参加チームが多数の場合はトーナメント戦とする。(参加チーム数により変更する場合があります)
- (2) 予選リーグは各試合4セットを行い、得点の多いチームの勝ちとする。なお4セット終了時同点の場合は延長1セットを行う。その場合延長したセットの得点は得失点差に含まない。
- (3) 予選リーグの結果、勝率及び得失点差が同じ場合は、次のとおりとする。
  - A) 2チームの場合は、当刻チームの対戦成績で上位チームを優位とする。
  - B) 3チーム以上の場合は、抽選で順位を決定する。
- (4) 決勝トーナメントは、6セット行き、得点の多いチームの勝ちとする。  
尚6セット終了時同点の場合は延長1セットを行う。その場合、延長したセットの得点は得失点差に含まない。
- (5) 予選リーグ戦1, 2位チームが決勝トーナメント戦に進むことができる。  
(参加チーム数により変更する場合があります)
- (6) 組み合わせ  
参加申し込み締め切り後、実行委員会において代理抽選によって決定する。
- (7) 審判は原則、参加チームによる相互審判とする。

## 4. 競技服装

- (1) 選手は着衣の胸部にゼッケンをつけるものとする。
- (2) ゼッケンは下記の通りとする。

チーム名	縦 18cm	
	横 25cm	※白地に黒字

## 5. 表彰

1位から3位まで表彰を行う。

## 6. 競技規則

最新の日本フロアカーリング協会の規則に準じる。

年 月 日

公益社団法人北海道ろうあ連盟  
スポーツ委員会 委員長 様

競技団体名

監督・主将名

## 登録選手変更届

第56回全道ろうあ者夏季体育大会 \_\_\_\_\_ 競技の登録選手を

下記の通り変更しますので、ここにお届けします。

### 【登録選手抹消】

氏 名 \_\_\_\_\_ (男・女) 年齢 ( )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

### 【新規登録選手】

氏 名 \_\_\_\_\_ (男・女) 年齢 ( )

背・ゼッケン番号 \_\_\_\_\_

### 【提出先】

6月29日(土) 主将会議の時、必ず提出すること。(厳守)

# 第56回全道ろうあ者夏季体育大会

## 《個人参加申込書》

ふりがな		男 ・ 女	年齢  才	ろう者 ・ きこえる人	北海道ろうあ連盟正会員
氏名					聴覚障害者(学生)
住所	〒  TEL/FAX				北海道手話サークル連絡協議会員
					北海道手話通訳問題研究会員
					日本手話通訳士協会北海道支部員
					加盟団体賛助会員
					所属名

※中高生の参加の場合、同意の署名をお願いします。

(保護者名) \_\_\_\_\_



種目		日程	金額	希望欄	備考
総合開会式		6/29(土)			
ボウリング	団体戦	6/29(土)			別途参加総括申込書
	団体のみ	6/29(土)	3,000円		個人戦に出場しない場合
	Aクラス	6/30(日)	6,000円		
	Bクラス	6/30(日)	5,000円		
バドミントン		6/29(土) 6/30(日)	3,000円		詳しくは案内書の表を参照
パークゴルフ	団体戦	6/30(日)	2,000円		別途参加総括申込書
	個人戦	6/30(日)	3,600円		プレー代込み
ソフトバレーボール		6/30(日)	3,000円		
フロアカーリング		6/29(土)	3,000円		
応援	資料あり	6/29(土)	1,000円		日程( 29日・30日 )
	資料なし	6/30(日)			受取先( )
弁当		6/29(土)	1,000円		受取先( )
		6/30(日)	1,000円		受取先( )
合計				円	

☆該当する希望欄に○をつけ、合計金額をご記入ください。

☆応援参加者で資料希望の方は、備考欄に行く日に○をつけ、資料受取先(応援競技)もご記入ください。

☆弁当は各競技場にて配付します。応援参加者は、弁当受取先(応援競技)をご記入ください。

☆この個人参加申込書は5月2日(木)までにあなたの所属協会に費用全額を添えて提出してください。

☆参加者が未成年の場合は、参加申込書に保護者による参加同意の署名・捺印が必要となります。

(署名・捺印がない場合は、申し込みを受理できません。)